

頭 部 外 傷

頭部外傷発生

接触プレーによって、頭部（首から上）をぶつける（対人・対物）、揺さぶられることによって起きる事象

※ 5 秒以上動かない場合は要注意！

※ 頸椎損傷の疑いもあるので首を動かさない！

プレーから外す（コート外へ）

有

意識消失
（一瞬でも）

無

プレー中止

有

意識消失を除く脳震盪徴候

無

判断基準 No. 2（Ⅰ、Ⅱ）

→ No. 3-4 <頭部外傷評価表>を用いて
看護師による評価、チェックを実施

※参考：脳震盪ハンドブック

プレー中止

回復しない

すぐ回復

プレー再開

プレー中・プレー後に
脳震盪徴候が確認できた場合

救急隊要請(119 番)

速やかに脳神経外科を受診

※注

- ① 傷害発生時はむやみに動かさないこと
- ② 怪我人から目を離さないこと
- ③ 脳神経外科（専門医）を受診すること
- ④ 搬送、受診の際は、「脳震盪ハンドブック」を持参すること

I. 脳震盪ハンドブック「脳震盪10の徴候」 症状のチェック

- | | |
|------------------|----------------------|
| ①意識消失（一瞬でも） | ②倒れて動かない/立ち上がるのが遅い |
| ③ぼーっとしている、うつろな表情 | ④フラフラしている |
| ⑤動きが遅い/ぎこちない | ⑥受け答えが適切でない |
| ⑦人格の変化 | ⑧混乱している |
| ⑨対戦相手がわからない | ⑩衝撃を受けた前/後のことが思い出せない |

※上記①～⑩が1つでも見られたら、すぐにプレーから外す。

II. REDFLAGS の確認 ※確認できたらすぐ救急隊要請(119番)

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|---|
| ☐ 首の痛み、首の圧痛 | ☐ 二重に見える | ☐ 手足の脱力、しびれ、チクチク痛い |
| ☐ 強い頭痛がひどくなる | ☐ 発作やけいれん | ☐ 意識消失 |
| ☐ 嘔吐 | ☐ 興奮、動揺、感情的になる | |

※上記のような徴候が1つでも見られたら脳震盪より重い脳損傷の可能性有。すぐに救急車を呼ぶ。

徴候が見られた時の対応方法

脳震盪の徴候が見られても、選手は「大丈夫です」と言う傾向があります。選手の安全を考えて5つのSTEPで対応しましょう。

徴候が見られた直後

-
- STEP 1 選手をプレーから外す**
「脳震盪10の徴候」が1つでも見られたら、その選手をプレーからすぐに外す。その日はプレーに戻してはいけません！
- STEP 2 「RED FLAGS」でチェックする**
脳震盪以上のケガをしていないか確認しましょう。1つでも当てはまるようなら救急車を呼びましょう。
- STEP 3 いまの状態を確認する**
脳震盪になった時の状況や「脳震盪10の徴候」、現在の自覚症状などを確認し、記録(メモ)しましょう。
- STEP 4 脳神経外科医に診てもらう**
コーチや保護者が重症度を判断するのは絶対に×。STEP3で記録した内容や過去に脳震盪を起こしたことがあるかを脳神経外科医に伝え診察してもらいましょう。
- STEP 5 保護者へ説明する**
選手に付き添っていた人が脳震盪になった時の状況を保護者に伝えます。帰宅後の過ごし方、禁忌事項についても説明しましょう。

脳震盪の徴候が見られても、選手は「大丈夫です」、保護者やコーチも「出してあげたい」という傾向がある。選手の安全、命を守るために的確な判断、迅速な対応をよろしくお願いいたします。

【対応と対策】

- ①代表者会議で脳震盪フローチャートを説明。「脳震盪ハンドブック」を参考資料としてチームハンドブックに掲載し、参加校への周知徹底を図る。
- ②救護責任者を中心に、大会責任者、審判責任者、各チーム代表者と、事象への対応（フローチャート）を用いて迅速に対応する。
- ③救護責任者により「頭部外傷評価表」で評価し、救急隊要請の判断を行う。
- ④脳神経外科（専門医）を受診すること。また搬送、受診の際は、「脳震盪ハンドブック」を持参すること。

バスケットボール競技

<頭部外傷評価表>

頭部外傷が疑われるとき、まずプレーを中止してその場で評価

1) 身体を動かさないで、コート内でまず A) の観察・評価

A) 呼吸 不規則

脈拍（頸部の拍動） 触知しない ⇒ 心肺蘇生・119

B) A)が問題ないとき、RED FLAG のチェック

		YES	NO
1. 意識レベル	意識消失が一瞬でもある	☐	☐
	名前を読んで答えない	☐	☐
	目を開けない	☐	☐
2. 頸部の状態	首の痛みがある	☐	☐
	後頸部を押さえると痛い	☐	☐
	手足のじんじん感がある	☐	☐
	手を握ることができない	右 ☐	☐
		左 ☐	☐
	ひざ立てができない	右 ☐	☐
		左 ☐	☐
3. 二重に見える		☐	☐
4. ひきつけやけいれんがある		☐	☐
5. 強い頭痛がだんだんひどくなる		☐	☐
6. 吐き気や嘔吐がある		☐	☐
7. 興奮している、不穏である、けんか腰になる		☐	☐
8. 意識状態が低下してきた		☐	☐

YES ☐ にチェックが一つでもあれば

プレー復帰不可

頭部の保護と担送(担架)の準備をし、救急車の出動を依頼

C) B)がすべて NO ならば、コートの外で1~9 評価

	YES	NO
1. ここは何処の体育館か言える	☐	☐
2. 今日は何月何日か言える	☐	☐
何年か言える	☐	☐
何曜日か言える	☐	☐
3. 今の対戦相手の名前が言える	☐	☐
試合の前半か後半か言える	☐	☐
リードしているかされているか言える	☐	☐
4. 前回の試合の対戦相手を言える	☐	☐
その試合結果を（勝敗）を言える	☐	☐
5. 坐位の保持ができる	☐	☐
⇒ ここまですべて YES なら、その場で立たせてみる		
6. 立位になれる	☐	☐
立位を保持できる	☐	☐
立位でふらつきがない	☐	☐
片足立ちができる	☐	☐
	左	☐
	右	☐
7. 顔面（顎を含めて）を打撲していない	☐	☐
8. 以下の症状がない	☐	☐

頭痛 ☐頭が締め付けられる ☐眠たくなる ☐めまい ☐ぼやけて見える ☐光に過敏 ☐音に過敏 ☐疲れているまたはやる気がしない ☐なにかおかしい ☐いつもより感情的 ☐怒りっぽい ☐寂しくなる ☐心配になるまたは不安になる ☐集中しづらい ☐思い出しにくい ☐動作を鈍く感じる ☐霧の中にいるような感じ ☐1~8. の NO ☐ に 1 つでもチェックがあれば プレー復帰不可

脳神経外科医の診察を要する

B) RED FLAG すべて NO、 C) 1-8. すべて YES なら、プレー復帰許可

試合終了後、C) 1-8 再評価